

伝統芸能

秋号

日本の祭り

岩手県 陸前高田市
「全国太鼓フェスティバル」



大阪府 岸和田市
「岸和田たんじり祭」



出かけよう!! 「静」と「動」と「魂」の祭典に!

長崎県 大村市
「黒丸踊」



山形県 山形市
「山形花笠まつり」



日本には心に染みる「静」の祭りと熱気あふれる「動」の祭りがある。
伝統芸能には先史の良き時代から大切に継承された「魂」がある。

祭りは人々の「いのち」、 伝統芸能は地域の「こころ」



実施日 毎年10月第1土曜日と翌日曜日(春日神社)
第3土曜日と翌日曜日(畑田八幡宮)
平成26年は10月4日(土)・5日(日)…春日神社
10月18日(土)・19日(日)…畑田八幡宮



香川県 綾川町 **綾南の親子獅子舞**

実施日 毎年11月28日
平成26年は11月28日(金)



長崎県 大村市 **黒丸踊**

実施日 毎年敬老の日の直前の土・日曜日
平成26年は9月13日(土)・14日(日)



大阪府 岸和田市 **岸和田だんじり祭**

10 11月 / 黒丸踊 **P6**

4 9月 / 八女福島の燈籠人形 **P4**

9 10月 / 綾南の親子獅子舞 **P5**

実施日 毎年8月5日~7日
平成26年は8月5日(火)~7日(木)



山形県 山形市 **山形花笠まつり**

実施日 毎年秋…10月9日・10日(春…4月14日・15日)
平成26年秋は10月9日(木)・10日(金)
【平成27年春は4月14日(火)・15日(水)】



岐阜県 高山市 **高山祭**

8 10月 / 朝日豊年太鼓踊 **P5**

3 9月 / 岸和田だんじり祭 **P3**

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

実施日 毎年10月第3日曜日
平成26年は10月19日(日)



岩手県 陸前高田市 **全国太鼓フェスティバル**

5 10月 / 全国太鼓フェスティバル **P4**

1 8月 / 山形花笠まつり **P3**

6 10月 / 二本松の提灯祭り **P4**

2 9月 / 越中八尾おわら風の盆 **P3**

7 10月 / 高山祭 **P5**



目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 …………… P1・P2
- ① 山形花笠まつり …………… P3
- ② 越中八尾おわら風の盆 …………… P3
- ③ 岸和田だんじり祭 …………… P3
- ④ 八女福島の燈籠人形 …………… P4
- ⑤ 全国太鼓フェスティバル …………… P4
- ⑥ 二本松の提灯祭り …………… P4
- ⑦ 高山祭 …………… P5
- ⑧ 朝日豊年太鼓踊 …………… P5
- ⑨ 綾南の親子獅子舞 …………… P5
- ⑩ 黒丸踊 …………… P6

山形県
山形市

やま がた はな がさ
山形花笠まつり

山形県
山形市

実施日
毎年8月5日～7日
平成26年は8月5日(火)～7日(木)



艶やかな声が響き渡る、東北四大まつりの一つ

山形花笠まつりの由来は昭和38年、山形県、山形市、山形新聞社、山形商工会議所などが中心となり、蔵王の観光開発とPRを目的に「山形夏祭り」が開催されました。『山形花笠まつり』は、「花笠音頭パレード」としてイベントの一つでしたが、昭和40年からは単独の『山形花笠まつり』として行う現在の形となりました。

山形花笠踊りには、正調花笠踊り(薫風最上川と蔵王暁光)、笠回し系、創作の4つの振り付けがあり、それぞれの参加団体の質の高い演出と多彩な踊りの様々な要素が融合し、華麗な群舞で魅力を高めています。また、本年は東日本大震災からの復興を願い東北六県の夏祭りが一堂に会する「東北六魂祭2014 山形」が山形市で開催され、各祭の先陣を切り、踊り手、歩き太鼓の総勢400人が花笠を揺らしながら華麗に群舞を披露し、半世紀の歴史を重ねる花笠の魅力に沿道から盛んな拍手と歓声をいただきました。

山形花笠まつり公式ホームページ
<http://www.hanagasa.jp>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス
電 車：JR「山形駅」から徒歩約10分
車：山形自動車道「山形蔵王IC」から約15分

富山県
富山市

えつ ちゅう やつ お かぜ ぼん
越中八尾おわら風の盆

富山県
富山市

実施日
毎年9月1日～3日
平成26年は9月1日(月)～3日(水)

大阪府
岸和田市

きし わだ まつり
岸和田だんじり祭

大阪府
岸和田市

実施日
毎年敬老の日の直前の土・日曜日
平成26年は9月13日(土)・14日(日)

300年余踊りつがれてきた気品高い祭り

元禄15年(1702)、加賀藩から下された「町建御墨付」を八尾の町衆が取り戻した祝いに、三味線・太鼓・尺八・鼓といった鳴り物ものにぎやかに、八尾の人々総出で町を練り歩いたのが始まりです。その後、孟蘭盆会(旧暦7月15日)も歌舞音曲で練り廻るようになり、いつしか二百十日の風の厄日(9月1日から3日)に風神鎮魂を願う「風の盆」と称する祭りになりました。

明治以降、初代おわら保存会長の川崎順二がともすれば野卑に陥りがちだった当時のおわらを立て直そうと、昭和初期に小杉放庵や野口雨情、長谷川伸等の著名な文人墨客らを八尾に招き「八尾四季」をはじめとする秀歌を詠ませ、現在のおわら歌詞の基礎を築きました。また演奏には、おわらの唄と三味線に胡弓を合わせようと、日夜研究に励んだ松本勘玄により、現在の哀愁を帯びた独特の旋律が生み出されました。さらに踊りにも、昭和4年、日本舞踊若柳流の初代若柳吉三郎の振り付けにより現在の洗練されたものとなりました。踊りは3種類あり、「豊年踊り」は種まきや稲刈りなどの農作業の手が取り入れられた素朴な所作が、「男踊り」は鍬打ちなどの農作業が躍動感溢れる勇壮な所作が、「女踊り」は川原での蛭狩りをモチーフにした優美でしなやかな所作が特徴です。



アクセス
電 車：富山駅からJR高山本線「越中八尾駅」下車
車：北陸自動車道「富山IC」から約25分

越中八尾観光協会
<http://www.yatsuo.net/kankou/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

重さ四トンを超えるだんじりの「やりまわし」は圧巻!

約300年の歴史と伝統を誇る「岸和田だんじり祭」は元禄16年(1703年)、時の岸和田藩主岡部長泰(おかべながやす)公が、京都伏見稲荷を城内三の丸に勧請し、米や麦、豆、あわやひえなどの5つの穀物がたくさん取れるように(五穀豊穡)祈願し行った稲荷祭がその始まりと伝えられています。

山車、屋台を華とする全国各地の祭礼において、その山車、屋台が曲がり角で方向転換するさまは大きな見所となっていますが、岸和田のだんじりは他の祭りの山車のように慎重に角を曲がるのではなく、勢いよく走りながら直角に向きをかえる方向転換が大きな見所です。

重さ四トンを超えるだんじりを走りながら操作するのは容易ではありません。祭りの二日間、だんじりは定められた曳行路を何周も何周も駆け巡り、そして曲がり角ごとに「やりまわし」を行います。その迫力とスピードは随一です。



アクセス
電 車：南海本線「岸和田駅」(岸和田地区)、「春木駅」(春木地区)下車
車：阪神高速4号湾岸線「岸和田南出入口」から約5分(岸和田地区)、「岸和田北出入口」から約5～10分(春木地区)

岸和田市役所ホームページ
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/danjiri>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

福岡県 八女市 やめふくしま どうろうにんぎょう 福岡県 八女市

八女福島の燈籠人形

毎年秋分の日を含む3日間
実施日 平成26年は9月21日(日)~23日(火・祝)




華やかに舞い踊る「からくり人形」の世界へ

「八女福島の燈籠人形」は、今から270年前の延享元年(1744)の放生会に人形の燈籠が奉納されたのがはじまりと言われ、明和9年(1772)に動く人形が登場し、現在の「からくり人形」の基礎ができました。燈籠人形は、精巧なからくりで人形がまるで生きているかのように動き、幽玄の舞台を作り上げます。上演は、人形遣い、唄方、はやし方総勢約40名という大がかりな人数で行われます。見どころは、「送り渡し」と呼ばれる人形が舞台の左右に移動する動き。操る人の熟練の技と呼吸の一致が必要な妙技です。また「素抜き」と言われる衣裳の早変わりも必見です。「屋台」と呼ばれる組立式の舞台は三層二階建て、クギヤカスガイが一本も使われていないのが特徴です。昭和52年(1977)国の重要無形民俗文化財に指定されています。

八女市役所ホームページ
<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

電車：JR鹿児島本線「羽犬塚駅」から堀川バス約20分「福島」バス停下車
 西鉄電車「久留米駅」から西鉄バス約35分「福島」バス停下車
 車：九州自動車道「八女IC」から約10分
 九州自動車道「広川IC」から約15分

岩手県 陸前高田市 ぜんこくたいこ 岩手県 陸前高田市

全国太鼓フェスティバル

毎年10月第3日曜日
実施日 平成26年は10月19日(日)



全国の太鼓団体が集まる、日本一の太鼓フェスティバル

全国太鼓フェスティバルは「いのちは、鼓動からはじまる」をメインテーマに平成元年から開催されてきました。陸前高田市には、900年以上の歴史と伝統を誇るといわれている「気仙町けんか七夕まつり」があります。この祭りは、4tを超える山車と山車が激しくぶつかり合う勇壮な祭りで、その山車の上で激しく打ち鳴らされているのが「けんか七夕太鼓」です。「けんか七夕太鼓を活用して地域おこし」という有志の発想が基になり、全国太鼓フェスティバルがスタートしました。東日本大震災により、会場である市民体育館が被災し、名古屋での開催となったこともありますが、平成24年からは会場を移し、規模は小さいながらも地元での開催を果たすことができました。これまでに出演した団体、個人は約300にものぼり、出演団体からは「太鼓の甲子園」との評価もいただいています。

全国太鼓フェスティバル実行委員会事務局
<http://www.3riku.jp/taiko/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR大船渡線「陸前高田駅(BRT)」から徒歩約15分
 車：東北自動車道「一関IC」から約90分

福島県 二本松市 にほんまつ ちょうちんまつ 福島県 二本松市

二本松の提灯祭り

毎年10月4日~6日
実施日 平成26年は10月4日(土)~6日(月)



福島県重要指定文化財で日本三大提灯祭りのひとつ

二本松の提灯祭りは、10月の4~6日に二本松神社の例大祭として毎年開催されています。祭りの由来は今から約370年前(1643年)丹羽光重公が二本松城主として入部、「よい政治を行うためには、領民にまず、敬神の意を昂揚させること」という考えから、寛文元年(1661年)現在の栗ヶ柵に二本松神社を遷宮したのち、寛文4年(1664年)に祭礼を営んだことが始まりとされています。祭りが最もにぎわいを見せるのは、七町全ての太鼓台が一同に会する初日の宵祭り。若連の威勢のいい掛け声とお囃子と共に太鼓台が市内を勇壮に練り歩き、夜空を赤く焦がしながら移動する約三千個もの提灯の迫力を見る者の心を引き付け離しません。伝統を重んじ、地域色の強い囃子や神事があることから、平成23年には福島県重要無形民俗文化財に登録され、福島県を代表する祭りの一つとして数えられています。

二本松提灯祭り実行委員会(二本松市 観光課内)
<http://www.nihonmatsu-kanko.jp/matsuri.html>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR東北本線「二本松駅」から徒歩約10分
 車：東北自動車道「二本松IC」から約10分

岐阜県 高山市

たか やま まつり

高山祭

毎年秋…10月9日・10日(春…4月14日・15日)
実施日 平成26年秋は10月9日(木)・10日(金)
 [平成27年春は4月14日(火)・15日(水)]



絢爛豪華な屋台が集結する祭は日本三大美祭のひとつ

高山祭は日枝神社の春の山王祭(4月14・15日)と、桜山八幡宮の秋の八幡祭(10月9・10日)の総称で、日本三大美祭のひとつに上げられています。祭の起源は飛騨の領国大名金森氏の時代(1585～1692年)、屋台の起りは1718年頃にさかのぼります。巧みな人形の動きを披露するからくり奉納、仕掛けが施された戻し車など、屋台にも匠の技が生きています。総勢数百名におよぶ祭行列は、鬨鳴楽や袴姿の警固など伝統の衣装を身にまとい、お囃子や雅楽、獅子舞に先導され祭地域をまわります。夜に入ると各屋台はそれぞれ100個にもおよぶ提灯を灯し、艶やかに夜の闇を飾ります。飛騨人の意気が高まる高山祭。高山の揺るぎない誇りです。



アクセス 電 車：JR高山本線「高山駅」から徒歩約20分
 車：中部縦貫自動車道「高山IC」から約10分

高山市観光課
<http://www.hida.jp/matsuri/index.html>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

滋賀県 米原市

あさ ひ ほう ねん たい こ おどり

朝日豊年太鼓踊

毎年10月の第1日曜日もしくは第2日曜日(※年によって異なる)
実施日 平成26年は10月5日(日)



五穀豊穡を祈願して踊る、国の無形民俗文化財

伊吹山の麓、米原市朝日におよそ1300年前から伝わる雨乞いの踊りです。大原郷(おおはらごう)を開墾した際に始まったといわれているもので、伝承では賤ヶ岳の戦いで勝ちをおさめた羽柴秀吉が、陣鉦(じんじょう)・陣太鼓(じんたいこ)を打ち鳴らしたところ、大雨が降り出したので、それ以来、鉦や太鼓を用いるようになったと伝えられています。間田の岡神社、朝日の八幡神社の境内で踊りが行われていましたが、現在は伝統文化の保存・伝承のため毎年10月に八幡神社でのみ踊られています。八幡神社の境内で、つま折笠に緋こて、カルサン袴の踊り手たちが胸に抱えた太鼓を打ち、祭りを華やかに彩ります。貴重な郷土芸能で、昭和49年に国の無形民俗文化財に指定されています。今年の開催は2014年10月5日(日)です。



アクセス 電 車：JR東海道本線「近江岡駅」からバス「朝日」下車、徒歩約3分
 車：北陸自動車道「長浜IC」から車で約10分

長浜・米原・奥びわ湖を楽しむ観光情報サイト
http://kitabiwako.jp/event/event_897/

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

香川県 綾川町

りょう なん おや こ し し まい

綾南の親子獅子舞

毎年10月第1土曜日と翌日曜日(春日神社)
 第3土曜日と翌日曜日(畑田八幡宮)
実施日 平成26年は10月4日(土)・5日(日)…春日神社
 10月18日(土)・19日(日)…畑田八幡宮



全国的にも珍しい親子の獅子舞

綾南の親子獅子舞は、昭和の初め頃から行われるようになったと伝えられ、現在、中筋組と矢坪組の両組により継承されています。親子の獅子舞は全国的に珍しく、香川県下でも唯一であることから、昭和52年に香川県の無形民俗文化財に指定されました。毎年10月に神社の秋祭りで奉納されており、平成26年は、矢坪組が10月4日・5日に春日神社において、中筋組が10月18日・19日に畑田八幡宮において、それぞれ奉納する予定です。親獅子と子獅子は各2名により演じられ、子獅子は小学生が演じます。鉦、太鼓、笛などの楽器の演奏も伴います。演技では、親子の獅子が楽しく遊ぶ様子、親獅子が子獅子に乳を飲ませる様子、親獅子が子獅子を谷に落として鍛える様子、気絶した子獅子を親獅子が助け上げ介抱する様子、親獅子が子獅子の成長を喜ぶ様子などが演じられ、親獅子と子獅子の相互の愛情を豊かに表現しており、観客に深い感動を与える獅子舞です。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス 【春日神社】
 電 車：高松琴平電気鉄道琴平線「挿頭丘駅」から車約15分、徒歩約60分
 車：高松自動車道「高松西IC」から車約25分
 【畑田八幡宮】
 電 車：高松琴平電気鉄道琴平線「挿頭丘駅」から車約3分、徒歩約10分
 車：高松自動車道「高松西IC」から車約20分

綾川町教育委員会
<http://www.town.ayagawa.kagawa.jp/soshiki/kyoikuiinkai/>

長崎県
大村市

くろ まる おどり
黒丸踊

長崎県



実施日

毎年11月28日
平成26年は11月28日(金)

戦国時代から伝わる勇壮な踊り

大村市黒丸町に約500年前の戦国時代から伝わる踊りです。この芸能は、有馬貴純に追われた大村純伊が流浪七年の末めでたく大村に帰郷した時、祝賀の踊りとして中国地方の浪人法養が土地の人々に伝えたものと言われています。4つの大花輪と2つの大旗が太鼓を打ち鳴らしながらゆっくり回る勇壮な踊りで、この他に、子どもによる手踊りや鉦叩きを含めた構成となっています。巨大な花輪は直径5メートル、重さ60キログラムにもなり、この大花輪の下に入ると幸福が訪れるといわれます。曲調は、ゆっくりとして中世の芸能の形態を良く残しているといわれ、長崎県内でも、古くからの芸能を残す貴重な踊りとされています。

大村市役所ホームページ

<http://www.city.omura.nagasaki.jp/bunka/kyoiku/bunka/kyodogeno/kuromaruodori.html>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR大村線「大村駅」下車、県営バス「大村ターミナル」から「野岳入口」行き「宮小路」下車、徒歩約15分または「黒丸入口」行き「黒丸入口」下車、徒歩約5分



埼玉県東松山市「下唐子獅子舞」

「民俗芸能と農村生活を考える会」開催のご案内

- 民俗芸能と農村生活を考える会パネル展
第1回～25回までの公演をパネルで、紹介いたします。入場無料
日時：平成26年12月1日(月)～12月25日(木) 10:00～16:30 (平日開催のみ)
場所：東京大手町 JAビル4階 農業・農村ギャラリー
- 第26回 民俗芸能と農村生活を考える会 (入場無料、先着600名)
埼玉県東松山市(麦打ち唄、下唐子獅子舞、正代祭りばやし)を紹介します。
日時：平成27年2月7日(土) 開場：12:00 開演：13:00
場所：日本教育会館 一ツ橋ホール(東京都千代田区一ツ橋)
申込み方法：10月1日からの本会のHP[<http://www.znk.or.jp/>]をご覧ください。
また、併せて、農業・農村ギャラリーにて、チラシを配布致します。

緑をつなぎ、笑顔をつなぎ、未来へつなぐ。



一般社団法人 **全国農協観光協会**

十年後、このまちは
どんな景色をしているのだろう。
その中を走り続ける
地域の足として。

STRONG TRUST

安全・安心、そして信頼。

続けます 安全・安心 あしたのために
STRONG TRUST **伊予鉄道株式会社** <http://www.iyotetsu.co.jp/>

「いま紅葉見頃のスポットは？」 「いまスキーに行くならどこ？」 「桜の開花はいつ頃？」

旬のおでかけ情報は

「全国旅そうだん」で検索！

<http://www.nihon-kankou.or.jp/>



日本観光振興協会が運営する旬のおでかけ情報満載のホームページ「全国旅そうだん」では、桜・花火・紅葉・イルミネーション・スキーなどをご紹介します。

- ◆桜の名所情報 3月～5月 500スポット 開花情報 300スポット
- ◆花火大会情報 7月～8月 500スポット
- ◆紅葉情報 9月～11月 500スポット 色づき情報 170スポット
- ◆イルミネーション情報 11月～1月 300スポット
- ◆スキー場情報 11月～3月 300スポット 積雪情報 300スポット

みらい
観光の力を明日のために

日本観光振興協会は、わが国の観光に関する中枢機関として、地域経済および観光産業の発展、国民生活・文化の向上、国際親善などに貢献し、観光立国の実現を目指します。



公益社団法人 **日本観光振興協会**
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-1-1 虎の門3丁目ビルディング6階
TEL.03-6435-8331 FAX.03-6435-6921
<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/index.html>

宝塚歌劇

幕が上がる、夢がはじまる。

100 TAKARAZUKA REVUE

TAKARAZUKA

Revue



©宝塚歌劇団

宝塚大劇場 東京宝塚劇場

- 阪急宝塚駅下車
- お問い合わせ TEL.0570-00-5100
- 一部携帯電話、IP電話などからはご利用いただけません (営業時間/10:00~17:00 水曜定休)
- JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車
- お問い合わせ TEL.03-5251-2001 (営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

【宝塚歌劇公式ホームページ】<http://kageki.hankyu.co.jp/>

【宝塚歌劇公式携帯サイト **モバイルカラヅカ**】<http://sp.takarazuka.tw/>

都心からの好アクセス 人に優しい都市型空港

国内27都市を結ぶ
豊富なネットワーク
(平成26年6月現在)



福岡空港ビルディング株式会社

〒812-0003 福岡市博多区大字下臼井778番地の1 TEL 092-623-0515代

HANEDA changes to make you smile
もっとべんりに、もっと快適に。



おかげさまで、羽田空港国内線ターミナルは 2年連続世界No.1に選ばれました。

SKYTRAX社「WORLD AIRPORT AWARDS 2014」2部門で受賞
「World's Best Domestic Airport」部門 「Best Airport Terminal Cleanliness」部門

羽田空港をご利用される皆さまをはじめ、空港の運営を支えてくださるすべての方々に深い感謝と御礼を申し上げます。

訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを

www.tokyo-airport-bldg.co.jp 日本空港ビルディング株式会社